

負担一切解決辨償可仕

右通り相違無上為後日本書作成スルモノナリ

昭和五年九月十六日

別記二

覺書

一 華本自軍社長が貴殿へ會見ス心々甚く如午后之時迄時間延取致セリ是部長代表とシテ座に懸キ至リ不即退席トシテ紙上申談中ニ至ル

二 依前在記通り全壹白也差上テ費用此即等下才不即退席を即許ス下ニ九月六日申辱之謝奉事ナリ

一五拾圓也

昭和五年九月十日迄

一五拾圓也

九月十八日迄

昭和五年九月十六日

支部長代表

星野久太郎

星野自軍社員代表印中

5. 9. 27
1737

學教第三三三二號

昭和五年九月二十六日

警視總監丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿

社會局長官殿

各廳長官殿

此旨多分右取中書ナリ
再々申上ル所ナリ

星野自軍社員會社労働爭議ニ係スル件(第七期解決)

要旨

- (1) 在記通り自軍社員會社労働爭議ニ係ル事多分右取中書ナリ
- (2) 解決社員會社労働爭議ニ係ル事多分右取中書ナリ
- (3) 解決社員會社労働爭議ニ係ル事多分右取中書ナリ